



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-systems.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 泰博
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土谷 稔 (TEL) 048-845-2200
 四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,510	12.5	537	182.8	546	176.6	361	393.8
2023年3月期第3四半期	6,674	△12.7	190	△53.6	197	△52.5	73	△74.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 402百万円(425.3%) 2023年3月期第3四半期 76百万円(△74.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	244.41	—
2023年3月期第3四半期	49.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	8,506	5,878	69.1
2023年3月期	8,235	5,672	68.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 5,878百万円 2023年3月期 5,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	65.00	—	67.00	132.00
2024年3月期	—	66.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	66.00	132.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	6.2	774	35.0	782	34.0	537	60.0	363.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	1,480,000株	2023年3月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	386株	2023年3月期	386株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	1,479,614株	2023年3月期3Q	1,479,635株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、景気の緩やかな回復基調がみられました。その一方で、地政学リスクに伴うエネルギー・原材料価格の上昇に加え、世界的な金融引締めに伴う為替市場への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、そのような環境の中でも、各企業におけるDX推進の流れは継続し、AI・IoT技術などのICT（情報通信技術）の役割は従来以上に重要性を増し、情報化投資意欲の高まりは継続していくものと考えられます。

このような状況のもと、当社グループは23中期経営計画（2021年度～2023年度）に基づき、主要事業の推進に取り組みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、ソフトウェア開発セグメントが減少しましたが、機器等販売、システム販売、システム運用・管理等のセグメントで増加となり、7,510百万円（前年同期比12.5%増）となりました。損益につきましては売上高の増加に加え、不採算案件が抑制され利益率が改善したことにより、営業利益537百万円（同182.8%増）、経常利益546百万円（同176.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益361百万円（同393.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

（単位：百万円）

		前第3四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	前年同期比	
				増減	増減率
機器等販売	売上高	1,157	1,523	366	31.7%
	セグメント利益	74	128	53	71.9%
	セグメント利益率	6.4%	8.4%	2.0P	—
ソフトウェア開発	売上高	1,020	851	△168	△16.5%
	セグメント利益	55	191	135	241.8%
	セグメント利益率	5.5%	22.5%	17.0P	—
システム販売	売上高	1,875	2,421	545	29.1%
	セグメント利益	109	343	234	214.7%
	セグメント利益率	5.8%	14.2%	8.4P	—
システム運用・管理等	売上高	2,664	2,749	85	3.2%
	セグメント利益	832	829	△2	△0.3%
	セグメント利益率	31.2%	30.2%	△1.1P	—
調整額（注）1	売上高	△43	△36	7	△16.1%
	セグメント利益	△881	△954	△73	8.3%
計（注）2	売上高	6,674	7,510	836	12.5%
	営業利益	190	537	347	182.8%
	営業利益率	2.8%	7.2%	4.3P	—

（注）1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①機器等販売

当セグメントは、パソコン、サーバー及び周辺機器とパッケージソフトウェア等の仕入・販売を行っております。

売上高は顧客へのパソコン、サーバー等の機器や文教市場向けの教育用機器の販売が好調であったことから増加し、1,523百万円（前年同期比31.7%増）となりました。セグメント利益は売上高の増加により、128百万円の利益（同71.9%増）となりました。

②ソフトウェア開発

当セグメントは、製造業・流通業・金融業等幅広くアプリケーションシステムの受託開発業務を行っております。また、主に製造業向けにERP事業のコンサルとシステム開発を行っております。

売上高は顧客のERP導入支援、DXプロジェクトのコンサルやインボイス対応等での増加はあったものの、主要顧客における大規模開発プロジェクトが終盤となり減少し、851百万円（前年同期比16.5%減）となりました。セグメント利益は売上高が減少する一方、不採算案件が抑制され利益率が改善したことから、191百万円の利益（同241.8%増）となりました。

③システム販売

当セグメントは、画像処理システムや生コンクリート業界向けシステム等の自社開発システム商品の販売及びネットワーク構築等のインフラサービスを行っております。

売上高は公共のインフラサービスを受注したこと、また医療システムの大規模案件や製造業向けパッケージ販売等が増加し、2,421百万円（前年同期比29.1%増）となりました。セグメント利益は売上高の増加に加え、不採算案件が抑制され利益率が改善したことから、343百万円の利益（同214.7%増）となりました。

④システム運用・管理等

当セグメントは、ユーザシステムの運用・管理サービス、データセンター、保守サービス等を行っております。

売上高は保守関連やデータセンター業務が増加したこと、また製造業向けのシステム運用保守が増加したこと等により、2,749百万円（前年同期比3.2%増）となりました。セグメント利益は一部の保守において作業が増加した影響により、829百万円の利益（同0.3%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間よりセグメント別の経営成績に記載の各セグメントの売上高については、外部顧客への売上高にセグメント間の内部売上高又は振替高を加えた金額を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産は、次のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2023年12月31日)	前年度末比	
			増減額	増減率
流動資産	5,350	5,816	465	8.7%
固定資産	2,884	2,690	△194	△6.7%
資産合計	8,235	8,506	271	3.3%
流動負債	2,153	2,305	152	7.1%
固定負債	409	322	△87	△21.3%
負債合計	2,562	2,628	65	2.5%
純資産	5,672	5,878	206	3.6%

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は8,506百万円となり、前連結会計年度末に比べ271百万円増加となりました。流動資産増加の主な要因は現金及び預金、電子記録債権及び仕掛品が増加したことによります。固定資産減少の主な要因はソフトウェア仮勘定などの無形固定資産が減少したことによります。

負債合計は2,628百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円増加となりました。流動負債増加の主な要因は短期借入金及び未払法人税等が増加したことによります。固定負債減少の主な要因はリース債務などの固定負債その他が減少したことによります。

純資産は5,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ206百万円増加となりました。これは主に、株主配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、通期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表した予想に変更はありません。

当連結会計年度(2024年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高10,200百万円、営業利益774百万円、経常利益782百万円、親会社株主に帰属する当期純利益537百万円を見込んでおります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、経済情勢、事業運営における内外の状況変化等により、予想値と異なる場合があります。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,967,209	2,479,921
受取手形、売掛金及び契約資産	2,394,001	2,112,893
電子記録債権	59,664	88,436
リース投資資産	434,115	420,194
商品及び製品	51,580	52,983
仕掛品	228,365	495,192
原材料及び貯蔵品	49,454	53,279
その他	167,128	113,835
貸倒引当金	△852	△634
流動資産合計	5,350,667	5,816,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	669,526	629,514
土地	531,977	531,977
その他（純額）	768,286	640,171
有形固定資産合計	1,969,790	1,801,663
無形固定資産		
投資その他の資産	348,375	274,940
退職給付に係る資産	129,168	141,417
その他	437,926	472,686
貸倒引当金	△391	△165
投資その他の資産合計	566,703	613,937
固定資産合計	2,884,869	2,690,541
資産合計	8,235,537	8,506,643
負債の部		
流動負債		
買掛金	848,098	802,904
短期借入金	-	150,000
未払費用	258,053	295,859
未払法人税等	27,846	120,204
賞与引当金	353,123	209,595
受注損失引当金	36,307	164
アフターコスト引当金	47,508	38,746
その他	582,414	688,364
流動負債合計	2,153,351	2,305,839
固定負債		
その他	409,624	322,239
固定負債合計	409,624	322,239
負債合計	2,562,976	2,628,078

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	4,639,202	4,804,042
自己株式	△802	△802
株主資本合計	5,656,222	5,821,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109,342	141,699
退職給付に係る調整累計額	△93,004	△84,197
その他の包括利益累計額合計	16,338	57,502
純資産合計	5,672,560	5,878,564
負債純資産合計	8,235,537	8,506,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	6,674,218	7,510,281
売上原価	5,072,368	5,489,941
売上総利益	1,601,850	2,020,340
販売費及び一般管理費	1,411,823	1,482,880
営業利益	190,026	537,459
営業外収益		
受取利息	18	17
受取配当金	4,901	5,233
受取手数料	1,359	1,318
受取保険料	650	655
補助金収入	4,083	3,163
その他	1,523	1,906
営業外収益合計	12,538	12,295
営業外費用		
支払利息	2,957	1,675
支払手数料	603	607
その他	1,230	491
営業外費用合計	4,791	2,773
経常利益	197,773	546,981
特別損失		
固定資産除却損	33	191
訴訟関連損失	79,400	-
特別損失合計	79,433	191
税金等調整前四半期純利益	118,339	546,789
法人税等合計	45,103	185,160
四半期純利益	73,235	361,628
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	73,235	361,628

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	73,235	361,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,904	32,357
退職給付に係る調整額	11,353	8,807
その他の包括利益合計	3,448	41,164
四半期包括利益	76,684	402,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,684	402,792
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア開発	システム販売	システム運用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,151,536	997,497	1,870,596	2,654,588	6,674,218	—	6,674,218
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,776	22,904	4,852	9,862	43,396	△43,396	—
計	1,157,312	1,020,402	1,875,449	2,664,451	6,717,615	△43,396	6,674,218
セグメント利益	74,486	55,971	109,000	832,013	1,071,472	△881,445	190,026

(注) 1 セグメント利益の調整額△881,445千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア開発	システム販売	システム運用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,517,728	842,961	2,411,236	2,738,355	7,510,281	—	7,510,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,965	8,933	9,862	11,631	36,391	△36,391	—
計	1,523,693	851,894	2,421,098	2,749,986	7,546,673	△36,391	7,510,281
セグメント利益	128,005	191,288	343,051	829,812	1,492,157	△954,698	537,459

(注) 1 セグメント利益の調整額△954,698千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。